

2019年3月期 第1四半期 決算説明資料

2018年8月8日

2019年3月期 第1四半期決算の概要（1）

株式会社クレハ

（単位：億円）

	2018年 3月期 1Q	2019年 3月期 1Q	増減額 (率)	
売上収益	324	346	21	(6.5%)
営業利益	22	32	10	(44.9%)
税引前四半期利益	23	35	12	(50.2%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	16	25	9	(56.1%)

<前年同期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

機能製品と化学製品を中心に増収。

〔営業利益〕

機能製品、化学製品などの増収により、増益。

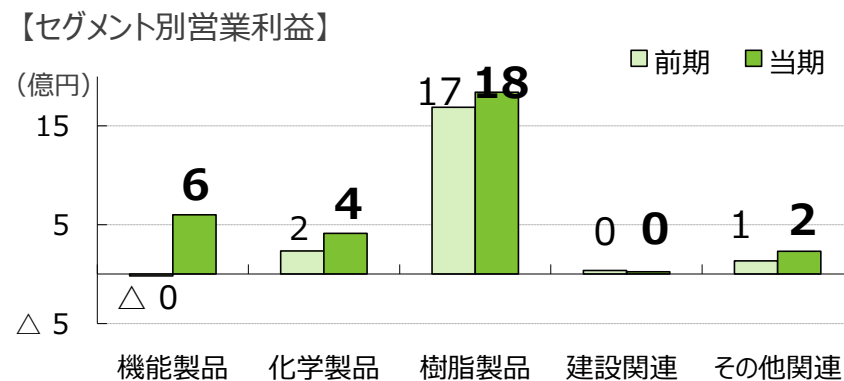
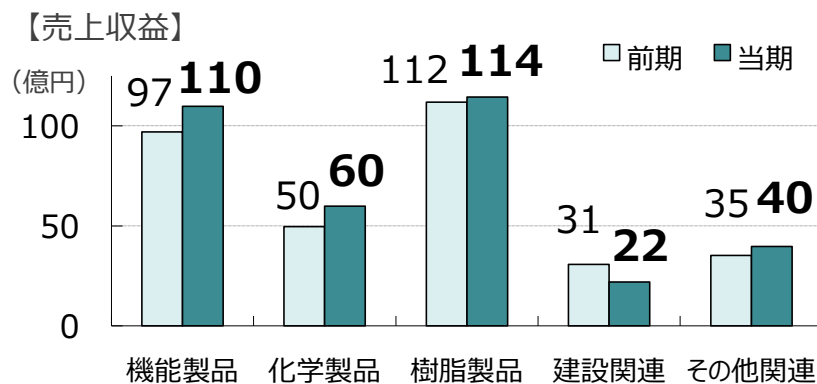
〔税引前四半期利益〕

営業利益の増加により、増益。

〔親会社四半期利益〕

税引前四半期利益の増加により、増益。

<セグメント別前年同期比較>



2019年3月期 第1四半期決算の概要 (2)

株式会社クレハ

2018年3月期1Q 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	97	50	112	31	35	324		324
調整							0	
その他の収益(+)							2	
その他の費用(-)							0	
営業利益	-0	2	17	0	1	21	2	22
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						3	
金融費用(-)							2	
税引前四半期利益								23
親会社四半期利益								16

2019年3月期1Q 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	110	60	114	22	40	346		346
調整							0	
その他の収益(+)							1	
その他の費用(-)							0	
営業利益	6	4	18	0	2	31	1	32
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						3	
金融費用(-)							1	
税引前四半期利益								35
親会社四半期利益								25

KUREHA

【機能製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2018年 3月期 1Q	2019年 3月期 1Q	増減 (率)	
機能樹脂	58	63	5	9%
炭素製品	11	13	2	17%
クレハ単体 計	70	77	7	10%
連結子会社	55	71	16	28%
連結売上消去	-28	-38	-10	-
連結売上収益	97	110	13	13%
連結営業利益	-0	6	6	-

<前期比> 増収 ↑ 増益 ↑

機能樹脂

PPS樹脂は売上が減少したものの、LiB バインダー向けPVDF、シエールオイル・ガス掘削用途向けのPGAはそれぞれ売上が増加し、合わせて増収、前期の営業損失から営業利益に。

炭素製品

高温炉用断熱材向け炭素繊維の売上が増加し、増収・増益。

KUREHA

【化学製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2018年 3月期 1Q	2019年 3月期 1Q	増減 (率)	
農薬	9	13	4	46%
医薬品	9	14	5	53%
工業薬品	24	25	1	4%
クレハ単体 計	42	52	10	23%
連結子会社	15	16	1	9%
連結売上消去	-7	-8	-1	-
連結売上収益	50	60	10	21%
連結営業利益	2	4	2	76%

<前期比> 増収 ↑ 増益 ↑

農薬

農業・園芸用殺菌剤の出荷が増加し、増収・増益。

医薬品

慢性腎不全用剤「クレメジン」は薬価改定の影響あるも新剤形の追加により、増収・増益。

工業薬品

有機薬品の売上減少、無機薬品の売上増加により合わせて増収となるも、原燃料価格の上昇により、減益。

KUREHA

【樹脂製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2018年 3月期 1Q	2019年 3月期 1Q	増減 (率)	
家庭用品	53	51	-1	-2%
業務用包材	16	16	-1	-3%
クレハ単体 計	69	67	-2	-3%
業務用包材(海外)	29	32	3	12%
合成繊維	11	12	1	5%
その他	18	18	0	1%
連結子会社 計	57	61	4	7%
連結売上消去	-14	-14	0	-
連結売上収益	112	114	3	2%
連結営業利益	17	18	2	9%

<前期比> 増収 ↑ 増益 ↑

家庭用品

釣糸「シーガー」の売上が増加したものの、家庭用ラップ「NEWクレラップ」の売上が減少し、合わせて減収。営業利益は前年同期並み。

業務用包材

熱収縮多層フィルム等の売上が増加し、増収・増益。

KUREHA

【建設・その他】セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

【建設関連】

(単位：億円)

	2018年 3月期 1Q	2019年 3月期 1Q	増減 (率)	
建設関連事業	47	37	-10	-21%
連結売上消去	-17	-15	1	-
連結売上収益	31	22	-9	-28%
連結営業利益	0	0	-0	-35%

【その他関連】

環境事業	20	25	5	24%
運送事業	21	21	-0	-0%
病院事業	9	9	0	3%
その他	5	5	0	4%
連結子会社 計	54	60	5	10%
連結売上消去	-19	-20	-1	-
連結売上収益	35	40	4	12%
連結営業利益	1	2	1	73%

【建設関連】

<前期比> 減収 ↓ 減益 ↓

土木工事は堅調も建築事業が減少し、合わせて減収・減益。

【その他関連】

<前期比> 増収 ↑ 増益 ↑

環境事業は、産業廃棄物処理等が増加し増収、営業損失から営業利益に。

運送事業は売上が減少するも、営業利益は前年同期並み。

病院事業は増収・増益。

KUREHA

1. 資産の部

	2018年 3月末	2018年 6月末	増減
現金・現金同等物	65	56	-9
営業・その他債権	327	285	-42
棚卸資産	360	354	-6
その他流動資産	18	51	33
流動資産 計	770	745	-25
有形固定資産	1,142	1,146	3
無形固定資産	13	13	-0
投資等	497	524	27
非流動資産 計	1,653	1,683	30
資産 合計	2,423	2,428	5

2. 負債・資本の部

(単位：億円)

	2018年 3月末	2018年 6月末	増減
営業・その他債務	215	206	-9
有利子負債	481	479	-2
引当金	66	50	-16
その他負債	140	140	0
負債 計	902	875	-27
資本金	182	182	-
資本剰余金	153	153	-
自己株式	-7	-7	-0
利益剰余金	1,087	1,100	13
その他の資本	87	108	20
非支配株主持分	18	17	-1
資本 計	1,520	1,552	32
負債・資本 合計	2,423	2,428	5

		2018年 3月期 1Q	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 1Q	2019年 3月期 予想 ※
設備投資	(億円)	17	98	23	150
減価償却実施額	(億円)	24	99	25	103
研究開発費	(億円)	12	50	12	58
有利子負債残高	(億円)	678	481	479	490
期中平均為替レート	(円/\$)	111.1	110.9	109.1	105.0
期末為替レート	(円/\$)	112.0	106.2	110.5	105.0
期中平均為替レート	(円/€)	122.3	129.7	130.0	130.0
期末為替レート	(円/€)	128.0	130.5	127.9	130.0
期中平均為替レート	(円/元)	16.2	16.7	17.1	16.5
期末為替レート	(円/元)	16.5	16.9	16.7	16.5

※…5月11日に公表した数値

2019年3月期 業績予想 (1)

株式会社クレハ

※ 5月11日に公表した数値・内容から変更はありません

(単位：億円)

	2018年 3月期		2019年 3月期予想		増減額 (率)
	通期実績	上期	下期	通期	
売上収益	1,473	720	780	1,500	27 (1.8%)
営業利益	130	50	90	140	10 (7.9%)
税引前利益	127	50	90	140	13 (10.4%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	97	35	70	105	8 (8.3%)
一株あたり利益	507.5 円		508.4 円		
配当金	125 円		140 円		
配当性向	24.6%		27.5%		
従業員数	4,374		4,387		

<前期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

機能製品を中心に増収。

〔営業利益〕

機能製品以外は売上減や経費増により減益となるも、PGAの損益改善を中心に機能製品が大きく増益、さらに「その他費用」の減少により、合わせて増益。

〔税引前利益〕

営業利益の増加により、増益。

〔親会社利益〕

税引前利益の増加により、増益。

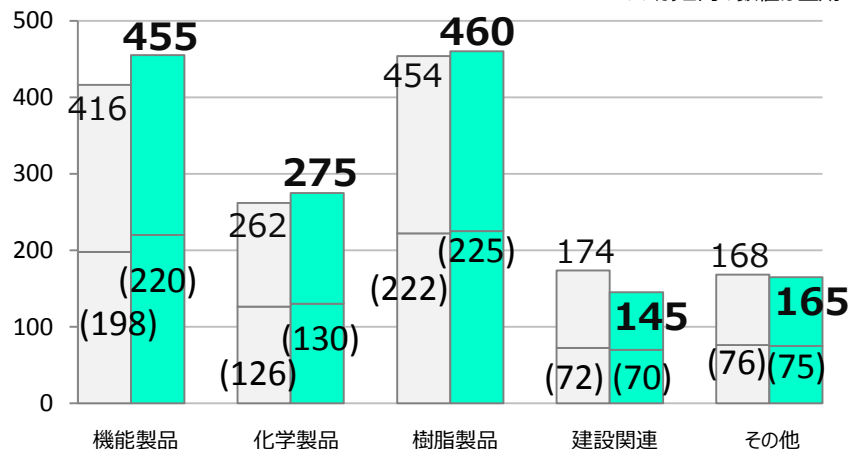
KUREHA

2019年3月期 業績予想 (2)

※ 5月11日に公表した数値・内容から変更はありません

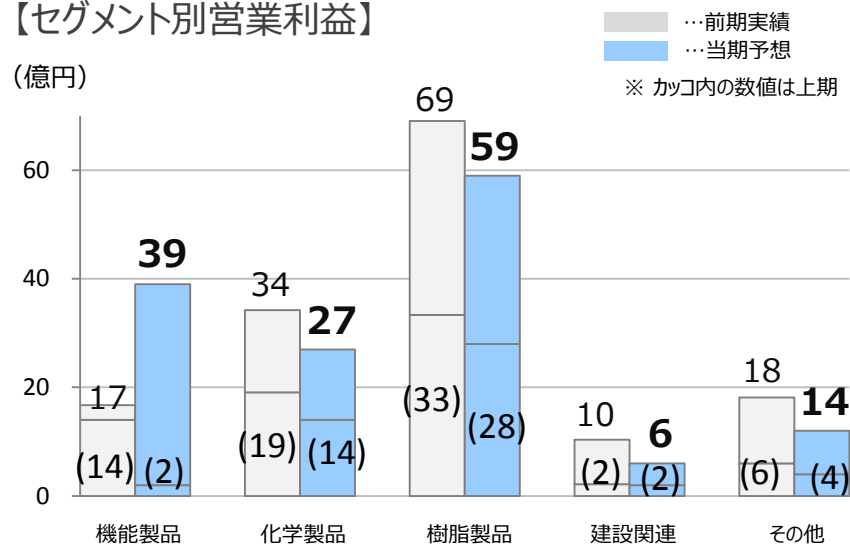
【売上収益】

(億円)



【セグメント別営業利益】

(億円)



<セグメント別営業利益の主な変動ポイント>

- 【機能製品】 PGA事業の立ち上がりによる損益改善で、増益。
- 【化学製品】 農薬は売上が減少、医薬品新剤形は数量増も薬価改定等の影響を受け、減益。
- 【樹脂製品】 家庭用品の販促費等の経費増加のため、減益。
- 【建設】 工賃・資材等の上昇により、減益。
- 【その他】 環境事業における競争激化により、減益。

2019年3月期 業績予想 (3)

※ 5月11日に公表した数値・内容から変更はありません

2018年3月期 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	416	262	454	174	168	1,473		1,473
調整							2	
その他の収益(+)							5	
その他の費用(-)							26	
営業利益	17	34	69	10	18	149	-19	130
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						6	
金融費用(-)							9	
税引前利益								127
親会社利益								97

…補助金収入 3億円
 …固定資産除売却損 13億円
 固定資産減損 7億円
 環境対策引当金 4億円

2019年3月期 予想

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	455	275	460	145	165	1,500		1,500
調整							0	
その他の収益(+)							1	
その他の費用(-)							6	
営業利益	39	27	59	6	14	145	-5	140
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						6	
金融費用(-)							6	
税引前利益								140
親会社利益								105

…固定資産除売却損 5億円

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。